

●2020年度総会・第165回定例研究会 2020年5月16日(土)13:00~17:00

名城大学校友会館(天白キャンパス正門前)

●第166回定例研究会・さんぎ大学講話会(トヨタ産業技術記念館との共催予定)【日程未定】

【2】岡崎中央図書館交流プラザ 岡崎むかし館企画展「昭和を駆け抜けた名鉄電車たち」
のご案内／藤井建【New】

私たちが利用している名鉄電車は、名古屋(押切町)から尾張地方と美濃地方に路線を延ばしていた名岐鉄道と名古屋(熱田)から知多半島と豊橋を結んで走る愛知電気鉄道が、1935(昭和10)年8月1日に合併して生まれました。その後、戦時中の交通政策により三河鉄道、知多鉄道、碧海鉄道、瀬戸電気鉄道などを合併し愛知・岐阜両県に路線網を広げる鉄道になりました。

岡崎を走る名鉄電車といえば、現在は、豊橋と岐阜を結ぶ名古屋本線のみですが、かつて昭和30年代半ばまでは市内を南北に結んで走る岡崎市内線が、昭和40年代初頭までは豊田市とを結んだ拳母線が走っていました。さらに、それよりもずっと前、昭和初期から太平洋戦争末期までは、岡崎駅から西尾を結んだ旧西尾線が走っていました。

今は想い出の彼方となった岡崎の三つの路線を含め、名鉄電車は複雑な歴史的背景を持つため、昭和の30年代から40年代にかけて、多種多様な電車が走り、鉄道ファンや模型ファンを魅了しました。

このたび開催する企画展「昭和を駆け抜けた名鉄電車たち」では、昭和30年代から50年代初頭にかけて岡崎を中心とした西三河地方で活躍した名車パノラマカーをはじめとする名鉄電車を50両以上のHOゲージ(縮尺:1/80)鉄道模型で展示しています。

4月11日土曜日13:30~15:00には、当会会員の藤井建さんによる記念講演

「岡崎と名鉄電車~岡崎市内線と拳母線を中心として~」

が開催されます。

開催日程:2020年4月1日~7月14日 9時~19時(最終日は17時まで)

開催場所:岡崎市図書館交流プラザ 岡崎むかし館

https://www.library.okazaki.aichi.jp/?page_id=228

詳細は添付のチラシをご参照下さい。

なお、岡崎中央図書館交流プラザは3月末までの予定で、新型コロナウイルス感染症の拡大防止の目的で閉館となっておりますが、その予定が伸びる可能性がありますから、行かれる方は予め、ホームページなどの情報をご確認下さい。

【3】日本学術会議 防災減災学術連携委員会ほか主催の、公開シンポジウム

「第9回防災学術連携シンポジウム 低頻度巨大災害を考える」

YouTubeを使った中継と配信のご案内【New】

日本学術会議 防災減災学術連携委員会ほか主催の、公開シンポジウム

「第9回防災学術連携シンポジウム 低頻度巨大災害を考える」が3月18日水曜日に開催されます。

<http://www.scj.go.jp/ja/event/2020/284-s-0318.html>

このシンポジウムが、新型コロナウイルス感染症の拡大防止を考慮し、一般参加は中止となりました。その代替りとして、インターネットによりライブ配信されることとなりました。

ライブ配信へのリンクは、上記ホームページにあります。

公開は、YouTubeを使ったもののようなので、ライブ配信の内容がサーバに残っていれば、あとからも見ることは可能かも知れません(本当に残っているかどうか?はありますのでご了承下さい)。

興味深い講演があると思いますので、ご案内いたします。



中部産業遺産研究会のニューズレターは電子メールアドレスをお持ちの会員の皆様に
Google グループのメーリングリストのシステムを使って配信しています。

配信元：中部産業遺産研究会 会報編集委員・広報幹事 橋本 英樹

Home Page URL : <http://csih.sakura.ne.jp/> E-mail : hidekih@wine.plala.or.jp Copyright 2002-2018 The Chubu
Society For The Industrial Heritage, Allrights reserved.



このメールは Google グループのグループ「中部産業遺産研究会」の登録者に送られています。

このグループから退会し、グループからのメールの配信を停止するには csih+unsubscribe@googlegroups.com にメールを送信してください。

このディスカッションをウェブ上で閲覧するには、

<https://groups.google.com/d/msgid/csih/013901d5f9c5%242dad66f0%24890834d0%24%40wine.plala.or.jp> にアクセスしてください。

昭和を駆け抜けた名鉄電車たち

令和2年3月13日(金)～7月14日(火)

午前9時～午後7時(最終日は午後5時まで)

入場無料

私たちが利用している名鉄電車は、名古屋(押切町)から尾張地方と美濃地方に路線を延ばしていた名岐鉄道と名古屋(熱田)から知多半島と豊橋を結んで走る愛知電気鉄道が、1935(昭和10)年8月1日に合併して生まれました。その後、戦時中の交通政策により三河鉄道、知多鉄道、碧海鉄道、瀬戸電気鉄道などを合併し愛知・岐阜両県に路線網を広げる鉄道になりました。

岡崎を走る名鉄電車といえば、現在は、豊橋と岐阜を結ぶ名古屋本線のみですが、かつて昭和30年代半ばまでは市内を南北に結んで走る岡崎市内線が、昭和40年代初頭までは豊田市とを結んだ挙母線が走っていました。さらに、それよりもずっと前、昭和初期から太平洋戦争末期までは、岡崎駅から西尾を結んだ旧西尾線が走っていました。

今は思い出の彼方となった岡崎の三つの路線を含め、名鉄電車は複雑な歴史的背景を持つため、昭和の30年代から40年代にかけて、多種多様な電車が走り、鉄道ファンや模型ファンを魅了しました。

このたび開催する企画展「昭和を駆け抜けた名鉄電車たち」では、昭和30年代から50年代初頭にかけて岡崎を中心とした西三河地方で活躍した名車パノラマカーをはじめとする名鉄電車を50両以上のHOゲージ(縮尺:1/80)鉄道模型で展示しています。



旧大樹寺駅



盲生川鉄橋

期間中の催し

鉄道模型走行会 鉄道模型Nゲージ、HOゲージ車両走行

日時 第1回 4月11日(土)、4月12日(日) 午前10時～午後5時

第2回 7月11日(土)、7月12日(日) 午前10時～午後5時

場所 図書館交流プラザ1階 103会議室(岡崎むかし館となり)

参加方法 入場自由・無料

※本企画は、車両を見て楽しむもので、模型車両持ち込みでの運転会ではありません。

記念講演会 「岡崎と名鉄電車～岡崎市内線と挙母線を中心として～」

日時 4月11日(土) 午後1時30分～午後3時

場所 図書館交流プラザ1階 岡崎むかし館

講師 藤井 建 (NPO法人名古屋レール・アーカイブス理事)

参加方法 入場自由・無料 ※事前申し込みは不要。ただし、人数状況により制限あり。

共催 モデルバーン名古屋、NPO法人名古屋レール・アーカイブス、
岡崎市立中央図書館

協力 NRC、クラブリーブル



岡崎市図書館交流プラザ

お問合せ 岡崎市図書館交流プラザ 岡崎むかし館
〒444-0059 岡崎市康生通西4丁目71番地
TEL0564-23-3111 FAX0564-23-3165
HPアドレス <http://www.libra.okazaki.aichi.jp>